

北齋漫画四編

204.

139



7547
H5
C.4

に 偏



物成字なる書より大なるは形成存はる事あり
形はるるに官裁古人の風流古物乃雅品を知るべし
画は深妙に今や高師裁筆先生画に臨みしを
とくく之画張をすれど却下乃我の筆がわぬ貴く
爾れは古筆に皇形の内人臨本に定しんは先生
二種を懐く進進果あは毎に山水人物をすしめ
各財に玉はまで隠れしとて之を字樣形に成すは
乃様楷たけむるを成を懐に漸とくく編を好す者
及び是に序に序辭をそふ茲におのく之を懸看に有る

七

を客画にして真なり。四編を草画にりとす。妙あり。夫は、書畫國字の二象なり。書と畫は總て、以て畫は草を、客と画は行を、中々画を真なり。蘭にあは、三編を真行と画、四編に至て草、紙をす。と、席の美多に考ふ。と、是こ、紙辨て、古人力云、まると不能、れと行と不能、行と不能、れとまると不能、とまると真、行は行もまると草、我も、我も、次々とす。と、呼先と乃、天子、我等也。憶、唐、好はと、真の師、と、世、言、紙、藏、と、以て、い、書、は、席、辨、と、考、也。

緯山漁翁藏







馬鹿孫三郎



北條時宗
北條時義
北條時國
北條時國
北條時國
北條時國
北條時國
北條時國
北條時國
北條時國



北條時宗
北條時義
北條時國
北條時國
北條時國
北條時國
北條時國
北條時國
北條時國
北條時國







山葵
りきい



本草綱目卷之四
木部
虎杖



虎杖

睡蓮



本草綱目卷之四
木部







Handwritten Japanese text, likely a title or a descriptive note, located on the right margin of the second page.



五言古詩一首

三





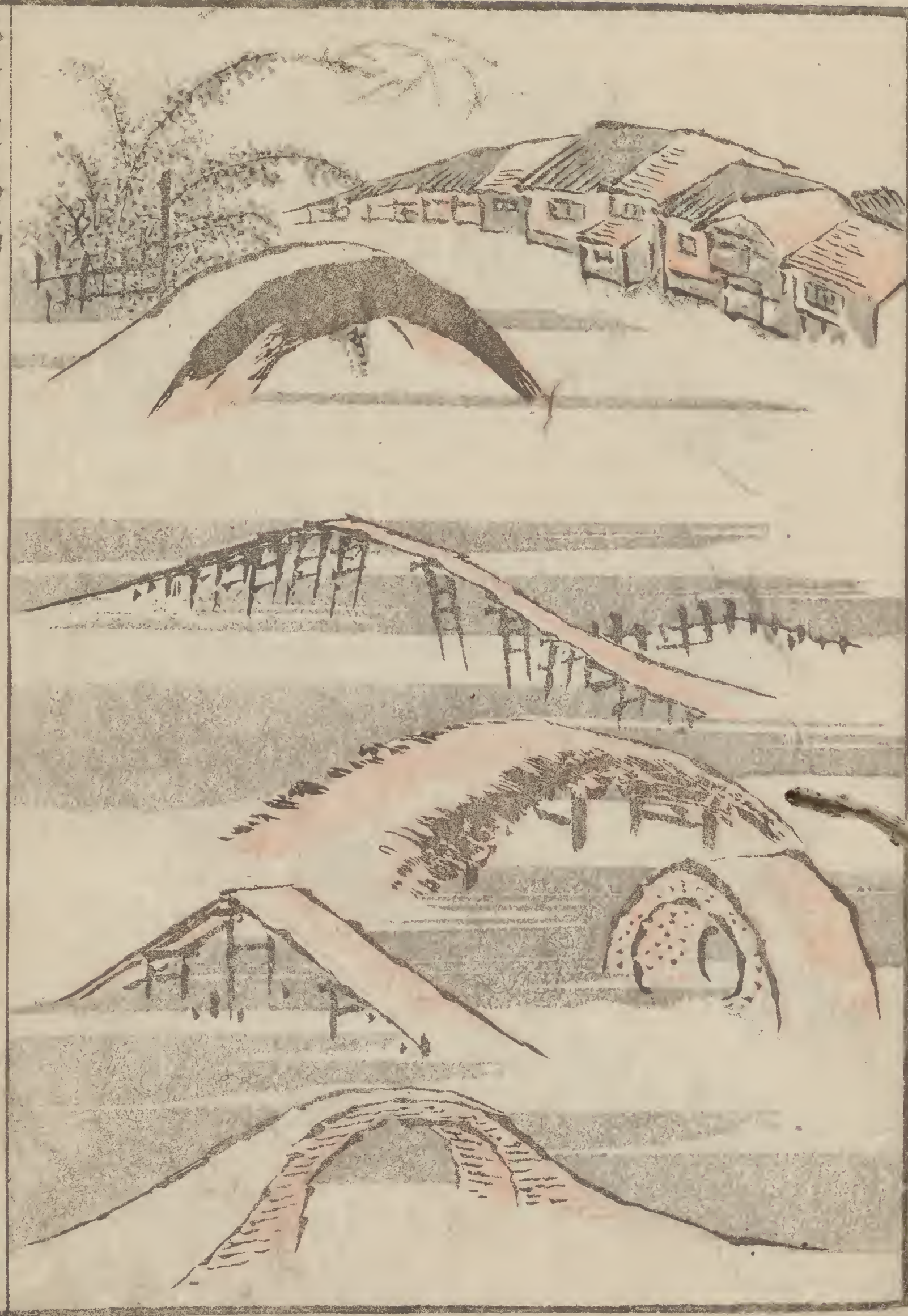


十二支



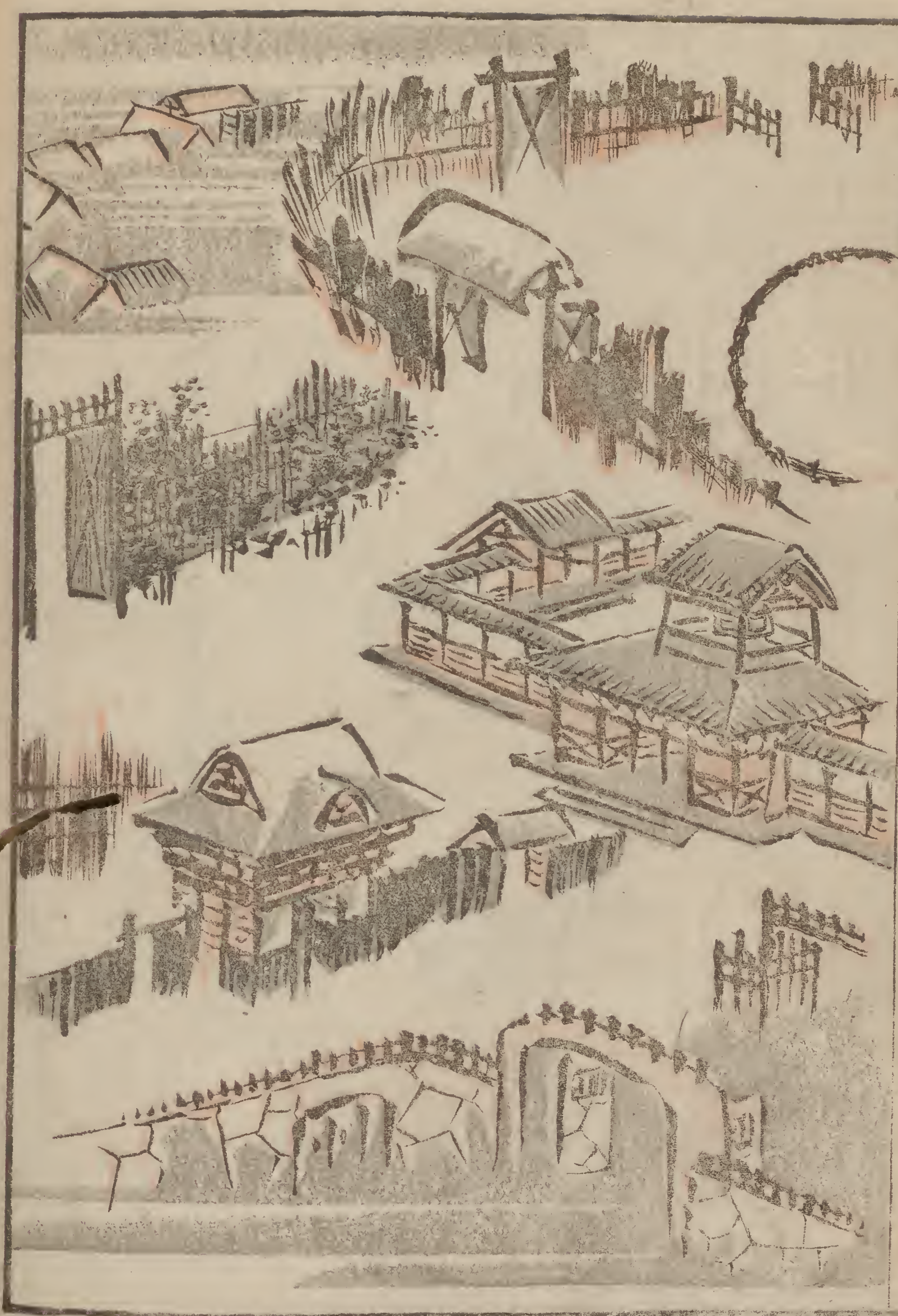




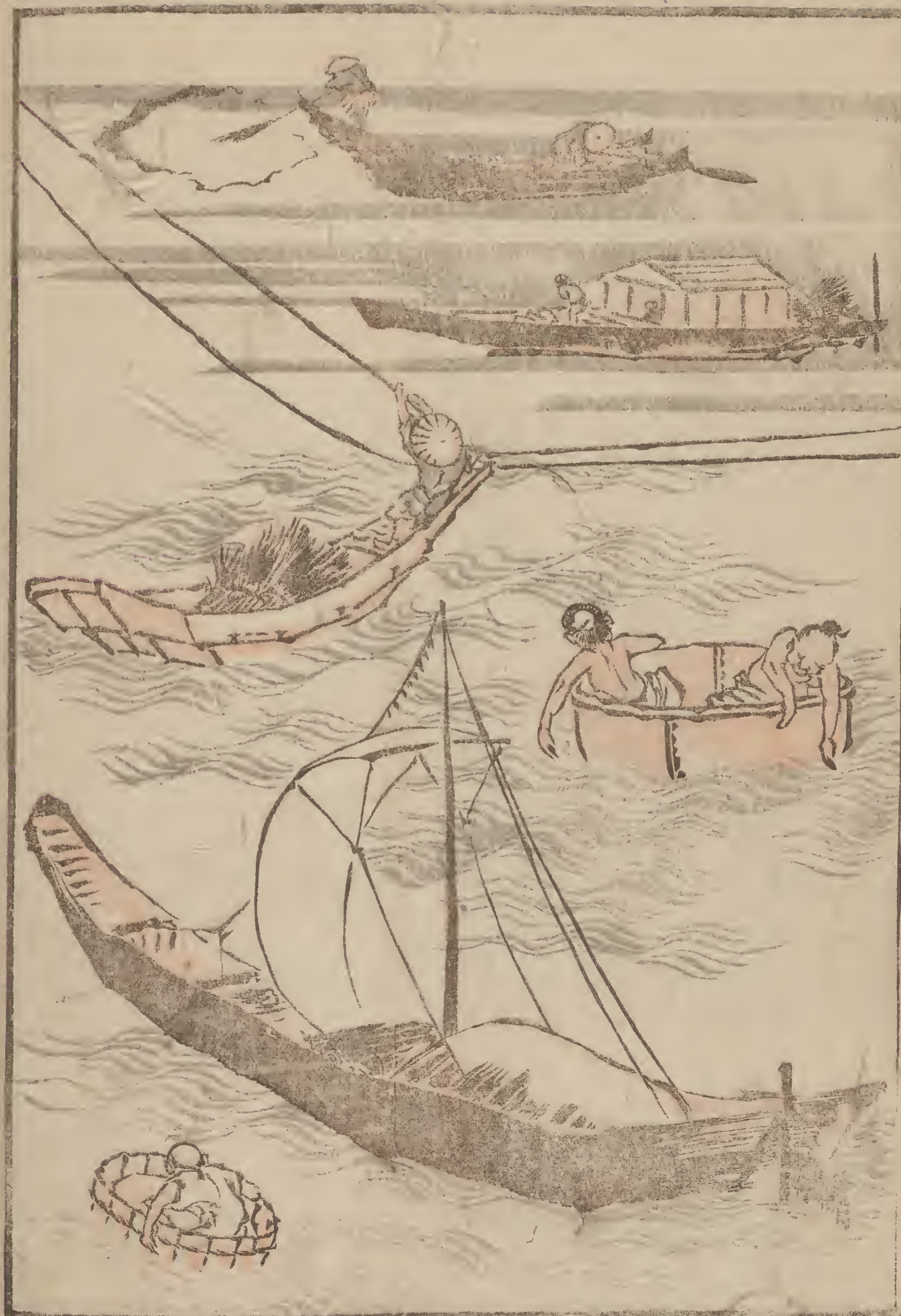




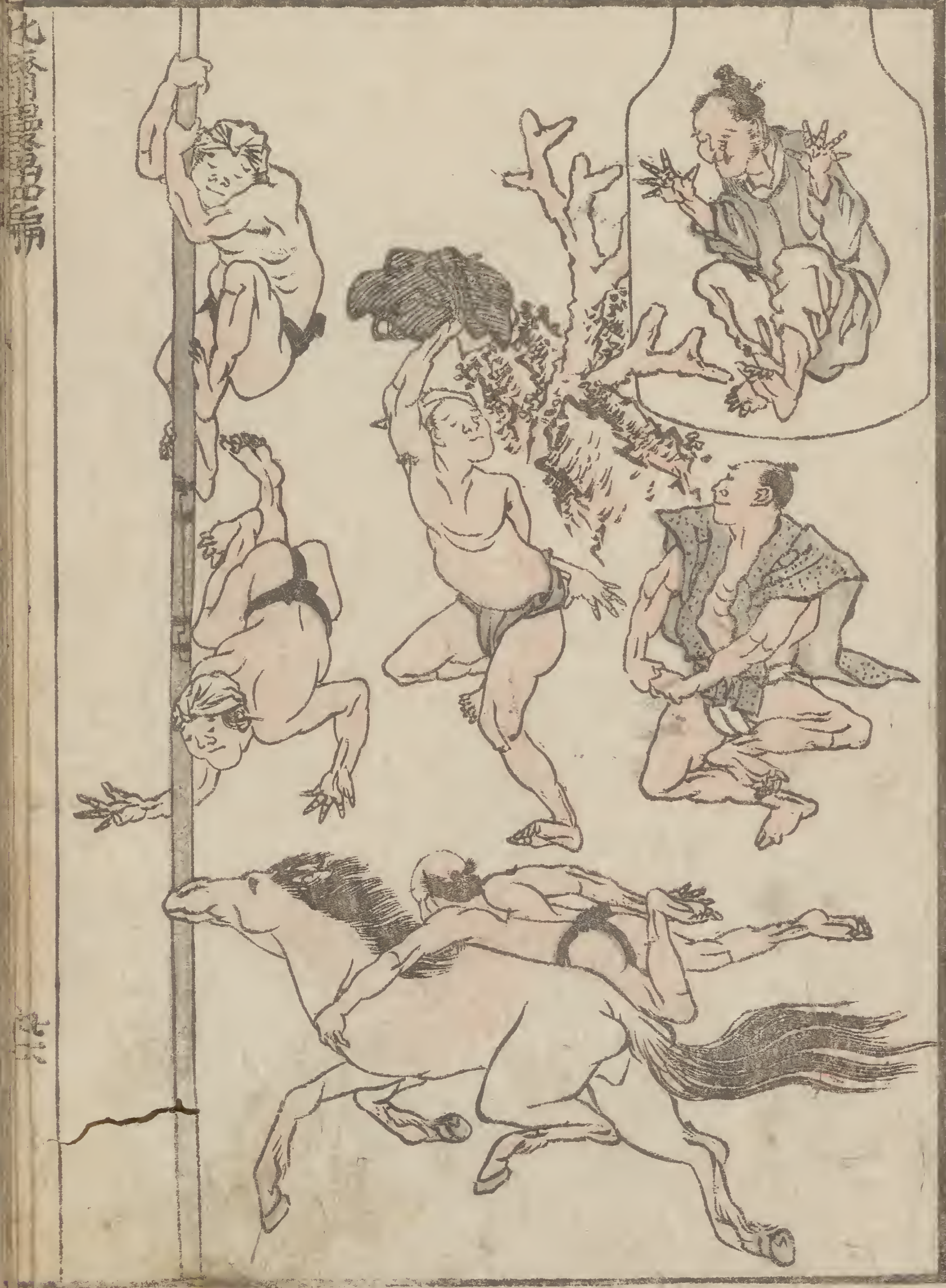








浮腹卷



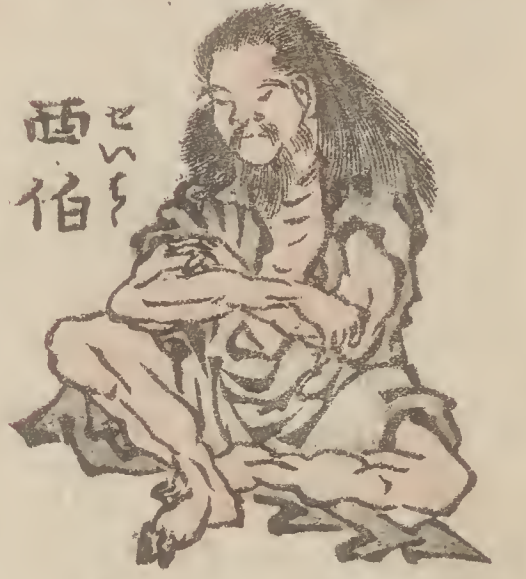
太公望



蘇武



西伯



孫晨



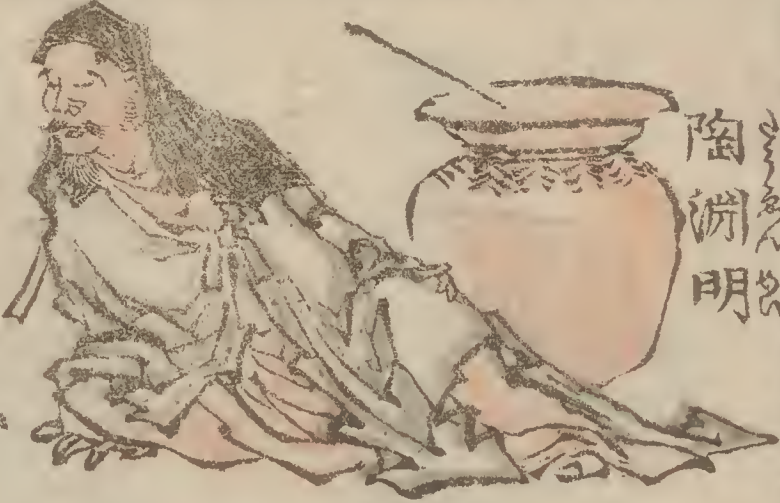
伯夷



狸々



陶淵明



杜子美



山谷



叔齊



扁鵲



和



伯樂



顏子



曾子



子思



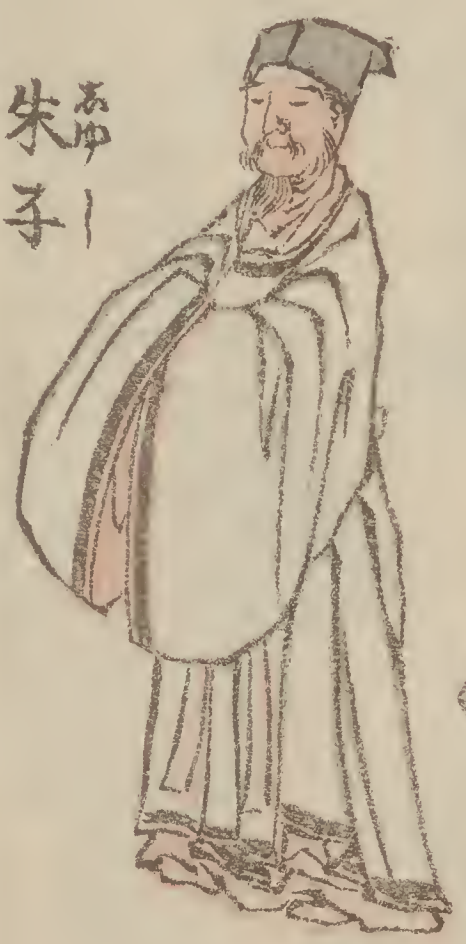
周公



張子



朱子



孟子



程子



周子



韓退之



邵康節



歐陽永叔



火渡



釣蠟燭

鐵火



松明

和合神



前北齋戴斗先生畫譜

尾張名古屋本町七丁目

永樂屋東四郎

北齋漫畫初三編

全一冊宛

先生の如く感じ毎に筆を動かすに似て、
さきの妙筆を写さば、筆を續て、主妙をえんとす。

同

四編

全一冊

草筆を加へ席上の草画は、さうして、筆を要する。

同

五編

全一冊

花表堂塔伽藍月卿雲客館齋房舎を委く
うけて、筆を動かすに似て、筆を續て、主妙をえんとす。

同

六編

全一冊

剣法鎗法弓馬炮術各稽古のしくみをうけて
は、さきの妙筆を写さば、筆を續て、主妙をえんとす。

同

七編

全一冊

國々名勝の地風雨霜雪のけいぎをうけて、
筆を動かすに似て、筆を續て、主妙をえんとす。

同

八編

全一冊

且綿繡養蚕乃業を動かすに似て、
筆を動かすに似て、筆を續て、主妙をえんとす。

同

九編

全一冊

和漢古今の名たる武將勇士の姿
貞婦烈女のしぐはをのび

同 十編 全一冊

神佛ありびとを偽り偽り秘蔵をす

同 商人鑑 全一冊

市中商家の世のいさぎよきを記して太平の世を

一筆畫譜 全一冊

先生工夫の一筆少て人物山川草木禽獸

蕙齋危畫 全一冊

畫乃秘伝秘蔵のいんまを先んずるもの

名家畫譜 全三冊

古今來諸國の名家の奇画妙圖を

金氏畫譜 全一冊

明之諸名家の畫賛れりち蘭竹の画を多くし

繪本孝經 全二冊

孝經の事繪を悉く集先づるを後刻せ

福善齋画譜 全三冊

勝嘉言先生生涯風流骨格の画譜宋元明乃

京都書林

堀川通

心齋橋通

伏見屋藤右衛門

柏原屋與左衛門

同

同 清右衛門

大坂書林

同

河内屋木兵衛

同

敦賀屋九兵衛

糺町四丁目

角丸屋甚助

日本橋砥石店

大坂屋茂吉

同 新右衛門丁

前川 六左衛門

名古屋本町通七丁目

永樂屋東四郎

尾陽書林

四

拾冊

